



豪雪を克服するため 堀之内消流雪導入施設を稼働しています

消流雪用水導入施設については、冬期間の積雪が非常に多く道路交通の障害等、住民の生活に大きな支障を来している地域において、水量の豊富な河川から市街地を流れる水量の少ない河川に、消流雪用水を供給することにより市街地の除雪作業の円滑化を図り、安全で快適な生活環境を確保しようとするものです。

信濃川河川事務所においては、魚沼市、長岡市、小千谷市において消流雪用水導入施設を設置し管理しています。

今回の大雪では、魚沼市堀之内庁舎においては、12月11日9時時点で100センチの積雪を記録する豪雪となっています。

このため、信濃川河川事務所では、魚沼市堀之内地区を流れる与越川（よごしがわ）において、堀之内消流雪導入施設のポンプを12月10日より稼働し、地域の除雪作業を応援しています。



除雪作業の状況

取り扱い 本資料の発表をもって解禁とする。

【問い合わせ先】

長岡市政記者会
週刊記者会

信濃川河川事務所
管理課長 南雲克彦(0258-32-3259)
堀之内出張所長 亀山岳雄(025-794-2064)

堀之内消流雪用水導入施設の仕組み

消流雪用水ポンプで魚野川の水を取り込みます。
市道や旧与越川の下にある導水管によって上流に送水します。
与越川と旧与越川の上流に放流します。
与越川や旧与越川の水量が多くなり雪を流します。



消流雪用水導入事業の効果



導入前の与越川の状況（平成17年1月撮影）

河道内の堆雪を除雪する住民



導水後の与越川の状況（平成24年12月12日撮影）